

おわりに

国は、「第2期教育振興基本計画」（平成25年6月）の基本的方向性の1つとして、「未来への飛躍を実現する人材の育成」を挙げており、その中には、グローバル化が進行する社会においては、未来への飛躍を担うための創造性、国境を越えて人々と協働するための英語等の語学力、コミュニケーション能力、異文化に対する理解などを培っていく視点が一層重要になっていると示されています。

このような状況の中、英語の授業では、子どもたちの語学力を育成することはもちろん、英語を用いた実際のコミュニケーションの場面を設定するとともに、子どもたちが思考・判断・表現できるよう、授業のデザインそのものを改善することがとても大切です。「洋書を活用した英語学習の実践研究」では、「1つ1つの英文を読む」ということにとどまらず、「話の流れを考えながら読む」「読んだ感想を友達に伝える」「洋書を通してその国の文化を知る」というように、子どもたちが主体的に考えたり、視野を広げたりすることにも取り組んできました。

「大阪で英語を学んだ子どもたちが、将来、英語を使って活躍する」…そんな子どもたちの未来を思い描き、授業づくりに取り組んでみませんか？